

学生生活

バンカラな学生生活

旧山高生は山口市内の他校の学生と比べても、やんちゃな学生が多かったようだ。自由な寮生活は居心地が良過ぎ、酒を飲んで大声で暴れまわるストームも、とにかく激しかった。宮島への一泊の旅行や、萩への修学旅行でも、行く先々で路上ストームをしては、「狼藉者山高生暴る」等、新聞に書きたてられた。

山口市内での悪戯は、もっぱら看板の取り替えであった。ごみ箱を並べて、ハードル競走をしたりもした。夜が明けて、学生たちの仕業を見た町の人々は、「こりやあまた、生徒さんたちの仕事でよ」と言い、度重ねても大らかに許された。町の人たちにはとても可愛がられていたようだ。



コンパの席で「ストーム！！」と叫び、続けて名前、出身地、所属学部などの自己紹介を行う「ストーム」と呼ばれる行為。現在でも山大の寮や一部の部活・サークルで行われている。形は変わっているが、山高時代から脈々と学生の間で受け継がれている。

青春のひとコマ



桜の下で



鴻南寮の一部屋



鴻南寮・新聞閲覧室



校内売店

校友会の活動

校友会は文化部・運動部から構成されており、学芸部、弁論部、野球、剣道、蹴球、水泳等、様々な活動を行っていた。中でも野球部は、設立当時から松山高と毎年対戦を行っており、旧山高の一大イベントとなっていた。

各部は会誌を発行しており、論調や文化部の作品に左翼的な動向や戦争の影響が見られるなど、時代と共に変化していく当時の学生の思想を垣間見ることができる。



会誌の一部



陸上部



(上)自動車部

(左)水泳部

金メダリスト輩出

昭和11(1936)年、ドイツでベルリンオリンピックが開催された。この大会で、田島直人が三段跳び16mの世界記録を樹立し、金メダルを獲得した。田島は岩国から、昭和4年(11回文乙)に入学した。在学中も、第6回インターハイで100m優勝、走幅跳優勝、走高跳2位、棒高跳3位、三段跳4位と史上最高成績をあげ、陸上競技部の花形選手であった。

オリンピックで副賞として贈られたオークの苗木は、旧山高卒業後に進学した京都大学に植えられ、「オリンピックオーク」と呼ばれている。この樹から採れた実を発芽させて育てた苗木は、現在の山高にも植樹されている。



田島選手の快挙に沸く旧山高の様子を伝える記事
(「防長新聞」昭和11年8月8日)